



2020年11月9日

各 位

会社名 株式会社今仙電機製作所
 代表者 代表取締役 櫻井 孝充
 社長執行役員
 (コード番号: 7266 東証・名証第一部)
 問合せ先 グローバル経営事業部 井上 達嗣
 執行役員
 T E L 0 5 6 8 - 6 7 - 1 2 1 1

連結業績予想、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年8月7日に発表しました「2021年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、未定としておりました2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきまして、2020年11月9日開催の取締役会において、下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	88,700	△1,100	△1,300	△2,300	△110 38
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	△20.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	112,081	2,720	2,820	553	26 63

なお、為替レートにつきましては、1米ドル105円を想定しております。

(2) 業績予想の修正理由

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により合理的な算定が困難だったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、連結業績予想を算定しましたので公表いたします。

徹底的なロスの排除、原価低減活動、生産性向上を推進してまいりますが、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、自動車部品関連事業につきましては特に日本及びアジアでの受注減、ワイヤーハーネス関連事業につきましては工作機械及び航空機関連の受注減、福祉機器関連事業につきましては、電動車いすの販売が減少したこと等により厳しい状況が予測され、減益を見込んでおります。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想について

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年8月7日公表)	前期実績 (2020年3月期中間配当)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	5円00銭	未定	16円00銭
配当金の総額	104百万円	—	332百万円
効力発生日	2020年12月7日	—	2019年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想	未定	未定	未定
今回修正予想		10円00銭	15円00銭
当期実績	5円00銭		
前期実績(2020年3月期)	16円00銭	10円00銭	26円00銭

（3）配当予想修正の理由

当社は、持続的な成長を維持していく中で、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様への安定的・継続的な利益還元を行うことを配当政策の基本方針としております。

しかしながら、当期においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、上記連結業績予想のとおり損失が見込まれることから、当期の中間配当につきましては、1株当たり5円、期末配当予想は1株あたり10円、年間配当予想は1株あたり15円といたします。

以 上